

国際線貨物基本ネットワークを構築し、貨物郵便事業を拡大

～ 中国・アジア主要路線に集約し、関西発着貨物便を増便 ～

ANA グループは、2007 年 2 月 8 日(木)、2007 年度サマーダイヤ期間(2007 年 3 月 25 日～2007 年 10 月 27 日)における国際貨物便事業の計画について、国土交通省に申請いたしました。

ANA グループでは、貨物郵便事業を事業領域の「3 本柱の一つ」として、需要の旺盛な中国・アジアなどのマーケットに重点を置いた路線再編とダイヤを重視した「貨物基本ネットワーク」の構築を図るため、外国航空会社との運航と整備の業務の管理の受委託をアメリカの ABX Air 社と 2007 年度サマーダイヤ()より開始し、貨物郵便事業をさらに拡大してまいります。ANA グループにとって、2007 年度は「2006～2009 年度中期経営戦略」の 2 年目となり、経営ビジョン「アジアでナンバーワン」の達成に向けて価値創造経営を進めるとともに、「羽田再拡張」へ向けた体制構築を着実に図ってまいります。

ABX Air 社との運航と整備の業務の管理の受委託については、別途航空法第 113 条の 2 に基づく許可申請を行う予定です。開始時期はサマーダイヤ期間中の実現を目指しております。

国際貨物郵便事業における「貨物基本ネットワーク」について

ANA グループでは、従来、中国・アジアの各地点に貨物便を曜日別に運航してまいりましたが、今後、中国・アジアの主要地点である上海、大連、天津、ソウル、香港、台北、バンコクを結ぶ各路線を、火・水・木・金・土曜日は毎日運航「ウィークデイデیلیー化」する形態としてお客様の利便性を高めてまいります。また、関西＝北京路線を新規開設(週 4 便・水木金土)し、中国華北地区へのネットワークを拡げサービスの充実を図ります。

< 主な運航路線 >

路線	機材	便数	備考
関西 - 上海 - 成田	B767-300F	週 5 便	9 月以降土曜のみ関西帰着
関西 - 北京 - 関西	B767-200SF	週 4 便	水木金土曜運航
関西/成田 - 大連 - 関西	B767-200SF	週 5 便	8 月末までの水・金曜のみ成田発
中部 - 天津 - 関西	B767-300F	週 5 便	
成田/中部 - 台北 - 関西/成田	B767-300F	週 6 便	一部曜日・期間については、日本国内の発着地点が異なります。
関西 - 香港 - 関西/成田	B767-200SF	週 6 便	8 月末までの水・金・日曜のみ成田着
関西 - ソウル - 中部	B767-300F	週 5 便	
関西 - バンコク - 関西	B767-200SF	週 5 便	

* 運航路線の詳細は別添をご参照ください。

* これらの計画は関係当局の認可を前提としております。

国際貨物郵便事業の生産量について

事業規模前年比	運航回数	トンキロ
国際貨物専用便	194%	175%

以上

別添1

ANA グループ国際貨物便 全路線について

ANA グループ貨物便路線					2006 ウィンターダイヤ (10/29-3/24)	2007 サマーダイヤ (3/25-8/31)	増減
中部	アンカレッジ	シカゴ	アンカレッジ	中部		2	+2
中部	アンカレッジ	シカゴ	アンカレッジ	関西	2	1	1
中部	アンカレッジ	シカゴ	アンカレッジ	成田	1		1
関西	バンコク	関西			2	5	+3
関西	香港	関西				3	+3
関西	香港	成田				3	+3
中部	香港	中部			1	3	+2
関西	香港	中部			2		2
中部	香港	成田			1		1
成田	香港	成田			2		2
関西	ソウル	中部				5	+5
成田	中部	ソウル	中部			1	+1
成田	ソウル	中部			3		3
関西	上海	成田			4	5	+1
関西	上海	関西			1		1
関西	北京	関西				4	+4
関西	大連	関西				3	+3
成田	大連	関西			1	2	+1
成田	大連	成田			1		1
中部	成田	大連	関西		1		1
関西	成田	厦門	関西			2	+2
成田	厦門	関西				1	+1
関西	厦門	関西			2		2
中部	厦門	成田	中部		1		1
関西	青島	関西				2	+2
中部	青島	中部				1	+1
成田	青島	関西			2		2
中部	天津	関西				5	+5
中部	天津	中部			1		1
中部	天津	成田			2		2
成田	天津	成田	中部		2		2
中部	台北	関西				1	+1
成田	台北	関西				3	+3
成田	台北	成田				2	+2
合計					19 路線 32 便	20 路線 54 便	+22

空港別発着回数()	2006 ウィンターダイヤ	2007 サマーダイヤ
成田	30	23
関西	22	64
中部	20	27
3 空港合計	72	114
(うち經由便発着回数)	(成田 8)	(成田 4、名古屋 2)

出発、到着をそれぞれ 1 とカウントした場合の数値となります。

別添 2

ABX Air 社の運航計画について

運航開始時期	2007 年サマーダイヤ期間中より (許可申請に向けて調整中であり、具体的な日程は未定)
運航機材	ボーイング 767-200SF(貨物専用機) 2 機
運航形態	運航と整備の業務の管理の受委託(ANA:委託者、ABX:受託者)
運航路線	近距離アジア、中国路線

ABX Air 社の概要について

ABX Air 社は、米国の宅配会社の一社であった Airborne Express 社の航空部門を前身としており、米国を中心に DHL 社などとのウェットリースを幅広く展開している航空会社です。ANA からは B767-200 型機を 24 機購入しており、この一部を貨物専用機に改修して使用しております。

設 立:1980 年(米国政府より航空運送事業者の認可を取得)

本 社:米国、オハイオ州、ウィルミントン

機材数:119 機(内訳 DC8:15 機、DC9:73 機、B767:31 機) *2006 年 6 月現在

代表者:ジョセフ・ヒーティー